



福岡城・鴻臚館 文化財ユニークベニューガイド

福岡城南丸多聞櫓

TAMON-YAGURA TURRET

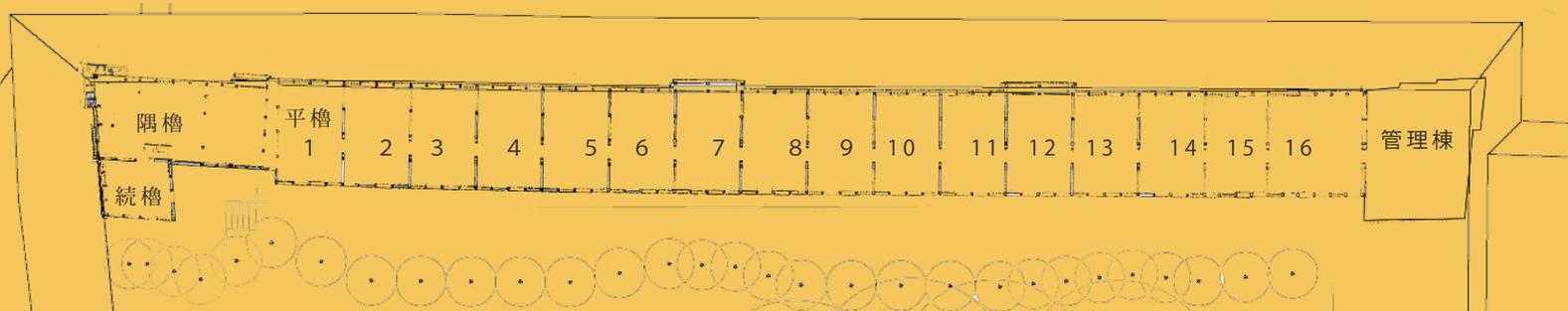
福岡城で唯一江戸時代から現存する国重要文化財の櫓建物

南丸多聞櫓は城内で唯一当時のたたずまいを伝える建物であることから、国の重要文化財に指定されています。南丸の広場から向かって左側の2階建て隅櫓と中央の1階建て平櫓は、17世紀初めの築城時からここに建っていたとみられています。幕末の嘉永6年(1853)に大きな改造を受け、現在の姿となりました。

構造は、隅櫓が二重二階建切妻造で、平櫓が桁行30

間です。また、外観の特徴は、柿渋と墨で黒く塗られた腰壁、真っ白い漆喰壁、石垣面には鉄砲狭間と石落しを備え、屋根は本瓦葺きです。室内は建物の骨組みを現したつくりになっていて、中塗壁という土色の壁が塗られています。一般に、多聞櫓は防御のための建物であり、平素は倉庫等に利用していたといわれますが、この多聞櫓の平櫓は16の部屋に独立しています。

福岡市の中心部にありながら、江戸時代の城のたたずまいを今に伝える建物です。貸切りにしてイベントなどにご利用いただけます。また、夜間に南丸の広場も合わせて貸切ることにより、クローズドなスペースとして使用することもできます。



所在地：福岡県福岡市中央区城内1

隅櫓：1階49㎡(1室)、2階21㎡(1室)

続櫓：12㎡(1室)

平櫓：373㎡(全16室、1室約22㎡)

櫓内部：床拭板敷、塗籠大壁もしくは真壁

広場：芝生1825㎡(舞鶴公園管理事務所管理)

- ・ 平櫓は1～16室まで間口あり。行き来可。
- ・ 隅櫓と平櫓は接続せず。
- ・ 隅櫓および平櫓各室に出入口1か所あり。
- ・ 続櫓は出入口なく、隅櫓から出入り。
- ・ 各室は電球による照明があるが、展示に際しては別途照明設置をご検討ください。
- ・ 展示物は痕跡の残らない方法での固定を。

- ・ 電気水道なし。
 - ・ 管理棟のみ電気・水道あり。トイレ敷地外90m。
 - ・ 火気厳禁
- 使用料およびその他利用条件については個別にご相談ください



福岡城まるごとミュージアム

伝統的な和物から最先端な展示まで可能な懐の深い内部空間—
—南丸広場と一体的に活用することで非日常的なイベント演出も可能



てのひら盆栽づくり at 多聞櫓